

# ゼロエミッションフォーラム in あきた 2007

県民総参加による循環型社会を目指して

～ 県民・事業者・行政それぞれの連携のもとに ～

Recycle

Reduce

Reuse

■ 日時/平成19年8月31日(金)  
13:30～17:00 (開場 13:00)

■ 場所/秋田ビューホテル  
4階 飛翔の間  
秋田市中通2-6-1

■ 定員/先着200名(無料)

会場周辺地図



私たちが慣れ親しんできた大量消費、大量廃棄型の社会は、限られた資源やエネルギーを浪費し、環境への負荷を増大させています。環境負荷の少ない持続可能な循環型社会に転換していくためには、県民・事業者・行政が連携し、積極的かつ具体的に取り組むことが不可欠です。

循環型社会について、県民総参加の視点で、一緒に考えてみましょう。

## プログラム

### ▶ 13:30 開会あいさつ

西村哲男(秋田県副知事)

三橋規宏(国連大学ゼロエミッションフォーラム自治体ネットワーク代表)

### ▶ 13:40 基調講演1

「ゼロエミッションを機軸とした循環社会の形成」

三橋規宏(国連大学ゼロエミッションフォーラム自治体ネットワーク代表、千葉商科大学政策情報学部教授)

日本経済新聞社入社後、主としてマクロ経済政策を担当。地球環境問題の深刻さに衝撃を受け、環境問題の研究に乗り出す。論説委員会に転籍後、連載社説「環境の世紀への提案」で環境経営の重要性を強調し、産業界に大きな影響を与える。また、環境NGO「環境を考える経済人の会21、略称B-LIFE21」を立ち上げ交流を促進するとともに、大学等において環境講座を開設するなど、実践活動を続けている。

主な著書：ゼロエミッションと日本経済、環境再生と日本経済、サステナビリティ経営 など

### ▶ 14:30 基調講演2

「県民の協力による新たなリサイクルへの挑戦」

～廃小型電子・電気機器の試験収集とレアメタルの回収～

白鳥寿一(東北大学大学院環境科学研究科教授)

現DOWAエコシステム株式会社入社後、排水処理や土壌汚染関連業務などに従事。

日本の基幹産業を支えているレアメタルの資源的枯渇による高騰を危惧し、リサイクル率の低い有価金属のリサイクルについて「人工鉱床構想」を提唱。新たなリサイクルシステムの構築に向けて、秋田県北部の行政や企業、スーパー等と共同で、小型家電からのレアメタル回収プロジェクトに取り組んでいる。

主な論文：人工鉱床構想、汚染土壌の浄化について など

### ▶ 15:20 休憩

### ▶ 15:30 パネルディスカッション

テーマ「県民総参加による循環型社会を目指して」

コーディネーター 熊谷 嘉隆 (国際教養大学准教授)

パネリスト 白鳥 寿一 (東北大学大学院教授)

三浦 清久 (秋田ウッド株式会社 代表取締役社長)

福岡 龍彦 (株式会社伊徳 取締役 人事部 総務部 部長)

那須チカ子 (環境カウンセラー〔市民部門〕)

佐藤 充 (県生活環境文化部長)

### ▶ 17:00 閉会

※都合により、プログラムの内容が変更となる場合がありますので、あらかじめ御了承ください。

#### ● 参加申込み方法(先着順)

①参加者氏名 ②所属等 ③住所 ④連絡先電話番号等を書いて、はがき、FAX、E-mailのいずれかの方法で、**8月24日(金)まで**に下記あてにお申込みください。

#### ● 申込み・問合せ先

秋田県生活環境文化部 環境あきた創造課 調整・循環型社会推進班

〒010-8570 秋田市山王4-1-1 電話：018-860-1571 FAX：018-860-3881 E-mail：kansou@pref.akita.lg.jp

ゼロエミッションフォーラム in あきた 2007 参加申込書 (FAX用)

FAX 018-860-3881

①参加者氏名			
②所属等		④電話番号	
③住所			
⑤FAX/E-mail			